下水道展’26 東京　報告書

公益社団法人 日本下水道協会主催による「下水道展’26 東京」が東京ビッグサイトにて開催された。下水道事業の管理者である全国の地方公共団体等を対象に、全国の下水道関連企業（団体）の日頃の技術開発の成果等に基づき、下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器、サービス等の展示・紹介をする下水道分野における国内最大の展示会である。

2 年ぶりの東京開催となった今年度は、AI やデジタルツインを扱う「IT・DX ゾーン」と、ドローン等による非接触点検技術を扱う「No Entry 管路診断ゾーン」の 2 つの新ゾーンが新設された。それに伴い、過去最多となる 417 団体の出展があり、来場者数も近年で最も多く 55,000 人を超えた。

1. 開催日時

2026 年 8 月 4 日（火）～8 月 7 日（金）

2. 会場

東京ビッグサイト　（東京都江東区）

3. 会場来場者数

【2026 年】下水道展’26 東京（速報）

日付	総来場者数	累計
8/4	12,600	ー
8/5	15,373	27,973
8/6	14,917	42,890
8/7	13,212	56,102

※ 上記は速報値であり、修正される可能性あり

出展：下水道展'26 東京 公式ホームページ

【参考】開催実績（過去の会場来場者数）

2019年　横浜	2021年　大阪	2022年　東京	2023年　札幌	2024年　東京	2025年　大阪
46,659	12,825	30,349	30,450	49,031	43,016

4. クリアフロー工法ブース来場者数

日付	8/4	8/5	8/6	8/7	計
役所関連	22	30	52	44	148
省庁・研究機関・大学・教育関係者	4	2	11	4	21
コンサル	15	47	29	24	115
企業（コンサル以外）	62	90	89	99	340
一般・学生・海外	7	18	12	11	48
計	110	187	193	182	672

【参考】過去のクリアフロー工法ブース来場者数

2019年　横浜	2021年　大阪	2022年　東京	2023年　札幌	2024年　東京	2025年　大阪
1,004	295	475	428	743	895

5. 総括

本年は比較的に涼しい気候のなか、全体の来場者は増加したものの、当ブースへの来場者は例年よりも減少傾向となった。 しかし、昨年度に新作した急曲線の実物大模型を東京で初めて出展したところ、多くの来場者に関心を抱いていただいた。また、現在現場にて導入しているアメクルについても今後の管内施工において非常に有用なツールであることを認識していただいた。

本年度はブース全体の来場者数は減少したものの、役所関係者の来場が多く、八潮市で発生した事故を踏まえた管路調査や管内施工に対する問い合わせを多数いただき、自治体・役所側の意識が高まっていると考えられた。また、「長距離（300～2,000m 級）の施工は可能か」「水深や流速などの標準的な施工条件から外れる環境下でも対応できるか」といった具体的な問い合わせも数多く寄せられた。本展示会をきっかけに初めて導入を検討いただく自治体もあり、今後の需要拡大が見込まれる。

次回開催予定：下水道展'27 横浜

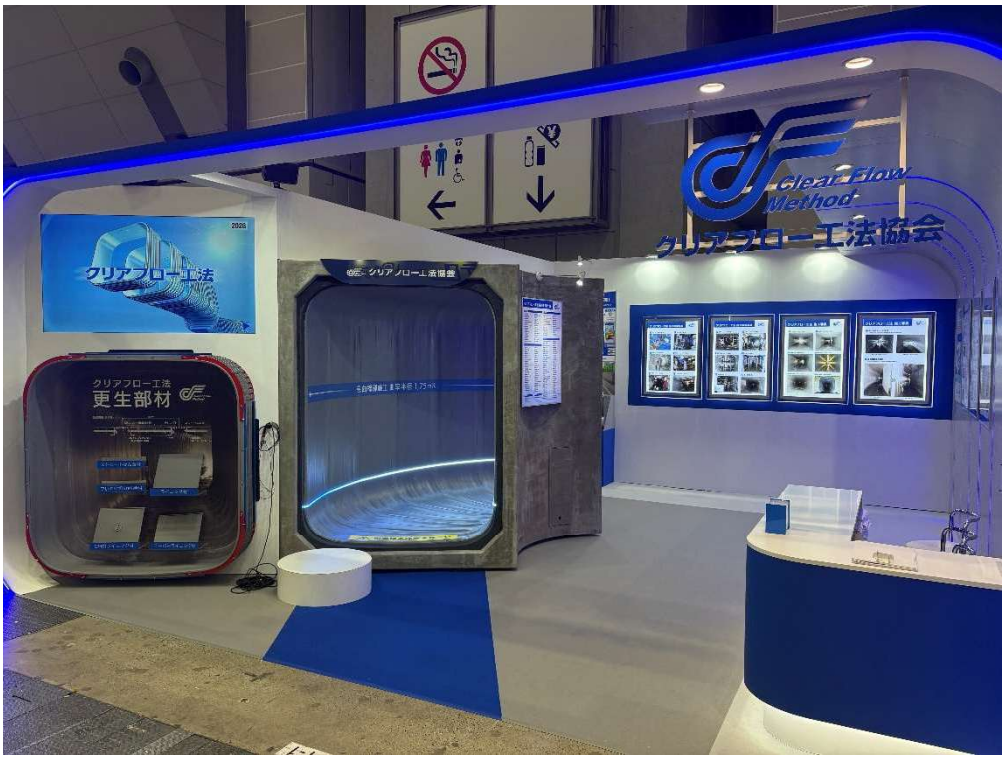
日時：2027 年 7 月 27 日（火）～30 日（金）

会場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

以上

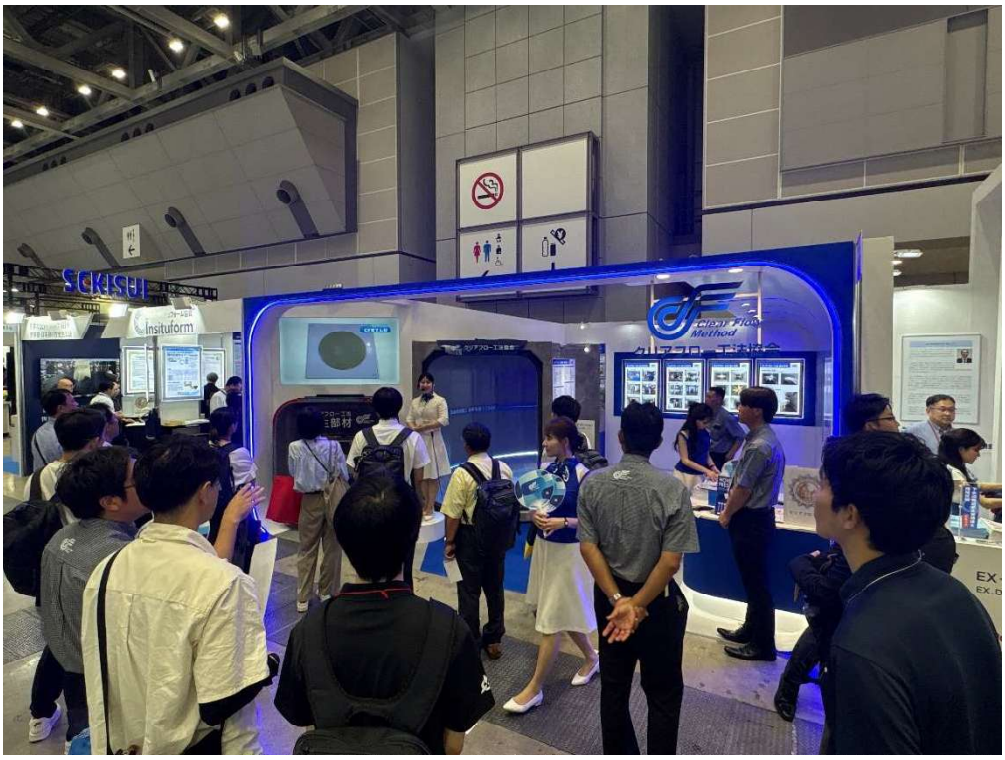
写真－１　クリアフローエ法ブース

写真－２　クリアフローエ法ブース

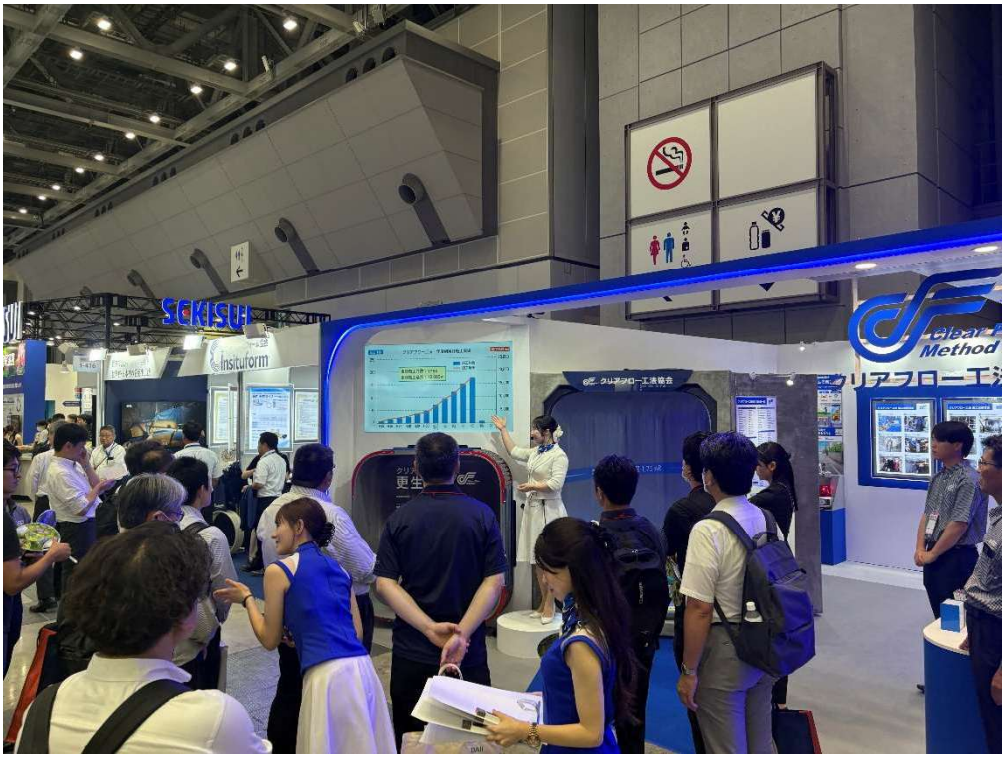


写真－３　クリアフロー工法ブース

写真－４　クリアフロー工法ブース（アメクルの展示）



写真－５　プレゼンテーション状況



写真－６　プレゼンテーション状況